

会長に就任して

社会福祉法人 京都社会事業財団

会長 野口 雅滋



今年の4月1日付で京都厚生園を運営する社会福祉法人京都社会事業財団の会長に就任しました、野口です。3月までは、京都桂病院の院長でした。今後とも宜しくお願い申し上げます。

法人の広報誌「しあわせ」を見ていただくと分かりますが、当法人には多くの施設が所属しています。医療福祉としては、無料・低額診療という第2種社会福祉事業を提供している「京都桂病院」と「西陣病院」の2病院があり、公益事業として「ししがも透

析クリニック」を運営しています。児童福祉には、「北野」「二条」「昭和」の3保育園と、京都厚生園の近隣に有る、児童養護施設「つばさ園」、児童心理治療施設「ももの木学園」、学童保育を行っている「松陽児童館」の合計6施設あります。老人福祉施設としては、ここ「京都厚生園」と「京都桂川園」、それに「ししがも舟山庵」があります。京都桂川園には障害者の方の施設入所支援と生活介護を行う「療護園」が併設されています。「ししがも舟山庵」は高齢の透析患者さんが20人前後入所され、併設されている「ししがも透析クリニック」で透析治療を受けておられます。老人の公益事業として有料老人ホームの「ライフ・イン京都」があり、「京都桂看護専門学校」と「訪問看護ステーション桂」訪問看護

ステーション西陣」も当法人の公益事業として運営されています。社会福祉法人には一法人一施設の形態で運営されている法人が多く、当法人のように、多種多様な事業を行う施設を一つの法人内に持っている社会福祉法人は全国でもそれほど多くありません。設立の歴史的経緯も有り、今までは各施設が別法人であるかの様な運営を行って来ました。高齢者施設も、京都厚生園、京都桂川園、ししがも舟山庵、ライフ・イン京都と4施設有るのに、それぞれバラバラに運営されてきました。松原前会長が法人としての一体感を形成するため、法人内機関誌「しあわせ」を創刊され、法人内の他施設の情報を共有することが出来るようになりました。また法人内の高齢4施設長会が定期的に開催されるように

なり、当時の大島常務理事が法人代表としてこの会議に参加されました。このような取組を通じて、法人内の高齢4施設が同一法人内の施設であるとの連帯感が徐々に醸成されてきました。皆さん良くご存じの通り今年3月末に社会福祉法の改正が国会を通過し、来年4月1日には施行されます。社会福祉法人のガバナンスの強化と経営の透明性が強く求められました。従来通り、施設単位での適切な運営も重要ですが、法人全体としての適正な運営も求められています。つまり法人全体として、どのような高齢者福祉を提供しているのかというこの発信も必要になってきたということだと思います。法人内の高齢4施設が、施設長だけでなく、事務長、看護職、介護職などすべての職種ごとに密な連携を取ることで、法人としての一体感が増し、法人全体としての高齢者福祉像の提示に繋がるのではないかと期待しています。高齢4

制度改正が続きます

平成29年度「京都市における介護予防・日常生活支援総合事業」開始

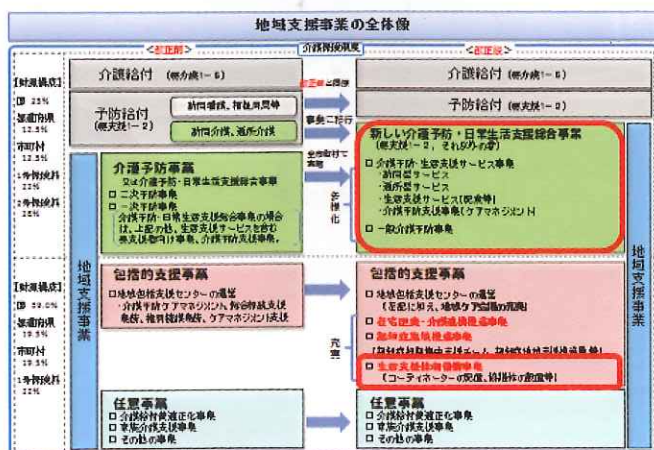
園長 源野 勝敏

昨年の介護保険制度の一部改正により「利用者負担の見直し(増加)」や「給付の重点化(重度者対応)」が進められました。具体的には、一定以上の所得のある利用者に対して2割負担の導入や月の負担上限額の引き上げ、特養や短期入所の利用の低所得者に対して食費・居住費を補填する「補足給付」の要件に資産などが追加、さらに煩雑な手続きの発生によりご家族にも負担をかけることになりました。毎年の所得確定による申請行為ですので、残念ながらこの手続きは毎年繰り返すこととなります。

さて、昨年の改正のもう一つの柱が「予防給付の多様化・地域支援事業の充実」と挙げられており、そのために京都市は平成29年度より新総合事業（「京都市における介護予防・日常生活支援総合事業」）を実施する準備を進めています。新聞などで報道された「要支援の予防給付のうち訪問介護と通所介護が市町村の事業へ移行します」ということです。限られた紙面では十分に説明できませんが、現在のご利用者は認定期間に応じて1年間を掛けて移行して行きます。福祉事務所や地域包括支援センターが丁寧な周知をされていくことを願います。

当園は、介護予防・地域支援（地域介護予防推進センター、地域包括支援センター）・認知症対応（京都厚生園松尾の家、京都厚生園山田の家、だいだいの木）・在宅介護（ホームヘルプステーション、デイサービスセンター、ショートステイ）・終の棲家（特別養護老人ホーム）と地域の高齢者のその人の想いや状態に寄り添う事業を行っています。先に述べました制度改正は今後も続きますが、ご利用者、ご家族、地域の皆さんの協力をいただきながら、職員一同で基本姿勢を守ってまいります。

地域支援事業の全体像



施設が法人全体でまともなことで他のメリットも出てくると思います。求人活動や人材育成を法人単位で行う。法人内施設間の人事異動も可能にする。物品購入も法人単位で行いスケールメリットを出す。一つの施設では対応困難な、施設内保育所も法人単位での設置を検討するなど、大きな法人内の施設でよかったと思ってもらえるような改革につなげていければと思います。

今、厚生労働省は「地域包括ケア」を高齢者だけでなく、子どもや障害者も含めて全世代で利用できるものに改変しようとしています。当法人は乳児から高齢者までの福祉と医療を提供していますが、まだバラバラに提供されているのが実状です。高齢4施設のように、他の福祉や医療も連携を深めることが出来れば、全世代対応型の地域包括ケアなど、他法人では取り組むのが容易でないような事業にも取り組んでいけるものと期待しています。

京都市西京区地域介護予防推進センター

「地域を元気に、地域を笑顔に」

ていますのでご紹介いたします。

京都市西京区地域介護予防推進センター（以下「推進センター」）は、平成18年6月より介護予防事業の中に位置づけられた京都市からの委託事業です。地域介護予防推進センターは、市内各行政区に1か所ずつ設置されており（伏見区のみ2か所）、西京区は京都厚生園が事業実施しています。

区役所や老人福祉センター、地域の自治会館のほか、ショッピングセンターなど区内の各所で介護予防のための各種教室や相談会、介護予防イベントなどを開催しており、今年度4月からは運動教室だけでも300名ほどの方が参加しておられます。

さらに地域の集い、学区単位の会合、また、時には区内の職域団体などから依頼を受け、様々なニーズに応じてプログラムを組み、お伺いしています。

ボランティア育成事業については、平成29年4月以降の姿を見越して取組みを進めています。地域のボランティアさんに活躍いただくことを広め、互助力・地域力をより発揮していただけるような活動を支援することが目標です。

ボランティアの方からのお声をいただい

●地域の運動教室の様子

「皆でゆつくり楽しくやっています。茶話会的に色々情報交換のできる場です。ボランティアをしてしんどい時もありますが、生きがいを感じています。」



参加者のみなさんからは、片足立ちの測定を毎回しておられ、家ではなかなかできないけれど、皆と一緒にできるんです、とお声をいただきました。



●やまだ玉静のんびりサロンの様子

①厄除けさるぼぼ人形づくり
申年にちなんだ「厄除けさるぼぼ人形づくり」の指導をしていただきました。厄が「さる」「苦（九）が「さる」と九つのさるぼぼがつながっています。

「これからもご希望があれば協力させていただきます。」と仰っていただきました。

②季節の折り紙づくり

日頃より様々な地域でご活躍中のボランティアの方に、「6月なのであじさいとカタツムリで」と、製作プランのご提案もしていただきました。思い思いの色紙で、鮮やかなあじさいがサロンにたくさん咲きました。

「とても楽しく実施でき、皆さんに喜んでもらえたことがとても嬉しいです。お役に立てるようでしたら今後も伺います。」と仰っていただきました。



また、法人内の他事業と連携・協力しながら実施している事例がありますので、ご紹介いたします。

京都桂病院内の別棟施設である「患者サロン」では、様々な疾患をお持ちの方や克服された方などが集り、情報交換や相談、行事などを企画運営しておられます。

推進センターは患者サロンに月に1回お伺いして、簡単な体操（ストレッチなど）を実施し、また、サロン会場を別日にも利用させていただいて相談会も開催しています。病院の正面玄関を入ってすぐのところがあり、お気軽にどなたでもお入りいただけるようにしています。



京都厚生園デイサービスセンターが、「元氣わっしょい教室」というプログラムを実施しています。その中でお口の体操や、かんたんな道具を使つての体操など、脳トレを兼ねた楽しい内容の情報提供をしています。

栄養教室のプログラムの中で、京都厚生園の食事体験をしていただくこともあります。高齢期の食事についてのお話、施設の見学もいただいています。

また、西京区認知症地域ケア協議会に推進センターは世話人として参加。地域のオレンジカフェにも協力しています。認知症の「入り口問題」として早い段階でお会いすることで、早期対応できるよう関係機関につないでいます。

特別養護老人ホーム京都厚生園

（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

京都厚生園デイサービスセンター

（通所介護・配食サービス事業）

京都厚生園ホームヘルプステーション

（訪問介護・障害福祉サービス事業（居宅介護））

京都市西京区地域介護予防推進センター

（介護予防推進事業）

思い、暮らし、絆を支援します。



今までの暮らし、その人にとっての
あたりまえの暮らし

京都厚生園松尾の家での日常

今までの暮らし、その人にとってあたりまえの暮らしを大切に、住み慣れた家、地域の中で、その人らしい暮らしが継続できるように支援していきます。

その人ならではの特技や趣味を活かした作品作り、天気の良い日はドライブや散歩にも出掛け、笑顔の絶えない「松尾の家」を目指し、その人の暮らしが豊かであるように取り組んでいます。



「住み慣れた家、地域の中で
私らしく…」という思い

地域とのつながり

松尾の家では、定期的に行われる地域行事に参加させていただいています。

「子ども祭り」では地域の子どもたちを交えて紙芝居をさせていただきました。また、華やかなハロウィン衣装を身に着けた、かわいい子どもたちが、突然お菓子を配りに来られるなど…。地域の方々と交流を大切にしています。



家族や隣人との絆
「今まで」と「これから」の絆



京都厚生園松尾の家「小規模多機能型居宅介護サービスの概要」

松尾の家では、介護保険を利用し「小規模多機能型居宅介護サービス」を提供しています。

要介護者の状態や希望に応じて、随時「通い・訪問・宿泊」のサービスを組み合わせ提供することで、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で在宅での生活が継続できるように支援する地域密着型のサービスです。



京都厚生園居宅介護支援事業所
高齢サポート・西京北部



私たちが相談をお受けします

居宅介護支援事業所

ケアマネジャーが、可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるよう、それぞれのご利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するための居宅サービス計画を作成し、その計画に基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行います。

京都市地域包括支援センター

65歳以上の自宅でお住まいの方の相談をお受けします。

高齢者やその家族、近隣に暮らす方の介護に関する相談や心配事、悩み以外にも健康や福祉、医療や生活に関すること等何でもご相談ください。

デイサービスセンターのひとときをご紹介します。

サツマイモ栽培



今年で二年目のさつまいも栽培です。プランターと土のう袋で育てます。「土に触るの久しぶり」と言われる方も。「戦中は堀川通りにも植えてたで」と昔話も飛び出しました。昨年は秋に収穫し、ふかし芋と芋ご飯(別曜日で二日間)で提供。ご利用者からの「今年はどうなるかねえ」と不安?と期待の声も上がっていました。今のところデイサービスの門扉の近くですくすく育っています。成長の様子はブログでもご紹介しています。乞うご期待!!!

機能訓練



来所後、看護師による血圧測定などの健康チェックが終わり、入浴と同時進行で運動の時間があります。看護師による基礎運動(足踏み・上腕挙げ等々)を行い、その後に職員とともにテレビで運動のDVDを流しながら音楽「365歩のマーチ」または「きよしのソーラン節」の画像と音楽に合わせて運動します。「ヨッ」「ホッ」という声が出て笑顔の多い運動の時間になっています!

成逸居宅介護支援事業所
高齢サポート・成逸



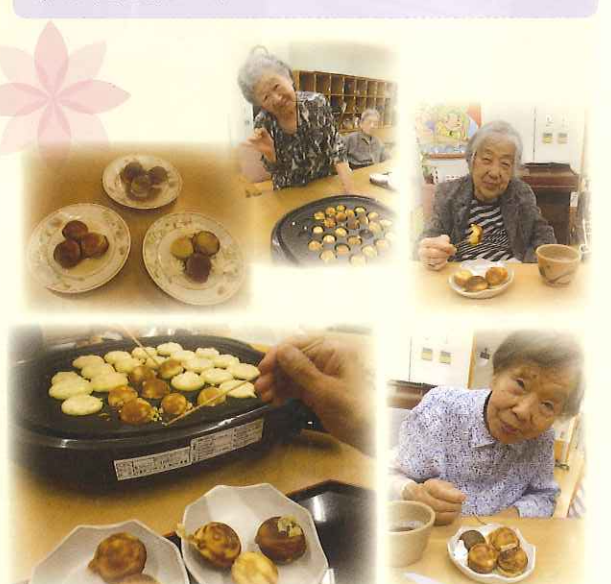
おやつ作り

6月の3日間、午後のレクリエーションの時間を使ってご利用者と一緒におやつ作りをしました。今回はたこ焼き機で「ベビーカステラ」に挑戦!まずホワイトボードに書かれた手順を皆さんで確認した後、ホットケーキミックスのたねをそっと流し込みます。生地表面にぷつぷつと泡が出てきたら竹串でひっくり返します。この竹串さばきが皆さんお見事でした!「昔家ようやったわあ」「夕飯のおかずで悩んだ時はたこ焼きやったで」と教えてくださいました。懐かしい思い出が蘇ります。



紫竹女性会フラダンス

ご利用者の推薦がきっかけで来ていただくことになりました。カラフルな衣装を見て「うわあ〜♥」と歓声が上がりました。そして優雅なダンスの披露。いつもと違う音楽にご利用者も職員も気持ちの良い刺激を受けました。フラダンスの一つ一つの踊りに意味が込められているのを感じながら、以前フラをしていたご利用者からも「いいねえ」と称賛の声が…!また是非来ていただきたいです!



第三者評価 受診結果

受診事業所：特別養護老人ホーム京都厚生園

第三者評価とは、事業所が提供するサービスについて、京都府から認定を受けた評価機関が専門的かつ客観的な立場から評価を実施するものです。平成27年度は「特別養護老人ホーム京都厚生園」が受診し、以下のとおりアドバイスを受けました。

特に良かった点

◎事業計画の策定 ◎継続的な研修 ◎地域への貢献

特に改善が望まれる点及び具体的なアドバイス

◎リラックスできる休憩室の整備

将来的な展望として、職場を一時離れ気分転換できる環境としての休憩室の整備を考えられたらいかがでしょうか。期待します。

◎介護計画と記録

利用者の高齢化に伴いハイリスクを抱える利用者が多く、リスク回避の計画も必要です。介護士は生活リハビリ、柔道整復師は機能訓練、看護師は両方にかかわり医師との連携をとる、栄養士は助言や食事の工夫等、各専門職の強みを活かした予防介護計画の立案・実施を期待します。昼間の居室カーテンの開閉をどうするのかや、食事時に車椅子から食堂の椅子に移る等も、必要にあわせ計画に組み込まれたらいかがでしょうか。記録は経時記録と問題別記録の併用をお勧めします。サービス提供時の利用者の言葉・表情・態度をありのままに書き、介護士が創意・工夫した内容も書く、その積み重ねの記録が、モニタリングや計画見直しに繋がることを期待します。

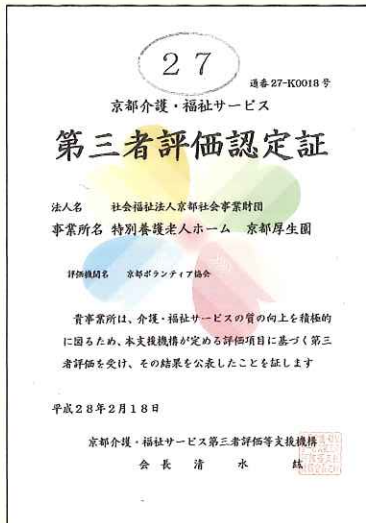
◎臭気対策

対策は色々とられていますが、再度、汚物の取り扱い・口腔ケアの徹底・身体の清潔保持等の見直しを行うのはいかがでしょうか。他施設で口腔ケアを励行し臭気がなくなったとの実例があります。

評価結果の詳細は、

「京都介護サービス・福祉サービス第三者評価サイト」

(<http://kyoto-hyoka.jp/>) で閲覧いただけます。



京都府子育て支援表彰（職場環境づくり部門）

子育てしやすい職場環境づくりに積極的に取り組む団体として、京都府子育て支援表彰の職場環境づくり部門にて表彰されました。

消防署長表彰

自主防火管理体制の充実に努めた事業所として「京都厚生園松尾の家」が消防署長表彰を受賞しました。



保育園の子ども達との交流

京都厚生園山田の家ではご利用者の思いや希望に沿った趣味活動に取り組んでいただいています。今回はそのような山田の家の日常の一場面を紹介させていただきます。

子ども達と一緒にさつまいもの苗植えやお芋ほりをするところが、毎年恒例となっています。畑での取組み以外にも、敬老行事や箱庭作りを通して交流を深めてきました。

今年の春には、ご利用者から子ども達の卒園をお祝いしたいとの希望もあり、手縫いのコップ袋と折り紙のチューリップ、メッセージカードを皆で作成しプレゼントしました。これからも子ども達との絆を大事にしていきたいと思います。



外での活動が盛んです

畑では皆で協力しながら野菜を育て、収穫する喜びを感じていただいています。春には西芳寺川へ散歩に行き、満開の桜を見て感動されていました。



室内でも充実した時間を

収穫した野菜で昼食の一品やおやつを作り、皆でいただきます。様々な作品作りにも取り組まれ、生活リハビリの一環としてアイロン掛けや洗濯物畳みをお手伝いしていただいています。



京都厚生園山田の家

〈認知症対応型通所介護〉

地域交流サロンやまだ「玉静」

貸借対照表

資産の部	
流動資産	348,454,985
固定資産	516,671,466
〔基本財産〕	〔349,512,173〕
〔その他の固定資産〕	〔167,159,293〕
資産の部合計	865,126,451

平成28年3月31日現在

負債の部	
流動負債	51,018,287
固定負債	215,006,415
負債の部合計	266,024,702
純資産の部	
基本金	263,386,507
国庫補助金等特別積立金	73,183,503
その他の積立金	26,500,000
次期繰越活動経収支差額	236,031,739
(内当期活動収支差額)	1,750,660
純資産の部合計	599,101,749
負債及び純資産の部合計	865,126,451

事業活動収支計算書

(自)平成27年4月 1日
(至)平成28年3月31日

科	目	金額
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険収入	833,095,249
	障害福祉サービス等事業収益	7,035,643
	経常経費寄付金収益	10,200,000
	サービス活動収益計(1)	850,330,892
	費用	
	人件費支出	634,182,021
	事務費支出	84,353,171
	事業費支出	97,451,404
	減価償却費	40,210,550
サービス活動外増減の部	利用者負担軽減額	1,549,704
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-7,960,547
	サービス活動費用計(2)	849,786,303
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	544,589
	収益	
	受取利息配当金収入	37,268
	その他のサービス活動外収益	4,062,140
	サービス活動外収益計(4)	4,099,408
	費用	
	支払利息	2,387,305
特別増減の部	その他のサービス活動外費用	1,922,267
	サービス活動外費用計(5)	4,309,572
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-210,164
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	334,425
	収益	
	固定資産売却益	0
	その他の特別収益	7,021,881
	特別収益計(8)	7,021,881
	費用	
	固定資産売却損・処分損	3
繰越活動増減差額の部	拠点区分間繰入金費用	600,000
	その他の特別損失	5,005,643
	特別費用計(9)	5,605,646
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,416,235
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,750,660
	前期繰越活動増減差額(12)	249,781,079
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	251,531,739
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	15,500,000
繰越活動増減差額の部	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	236,031,739

寄付・寄贈
皆様のご厚志に感謝します。
(順不同・敬称略)

寄付金	
●大西肇 ●成逸成寿会 ●濱田洋史	
●松本和子 ●佐藤富美子	
●京都聖母学院中学校・高等学校	
●松陽学区民生児童委員協議会	
●村上好一 ●室町地域女性会	
寄贈品	
●日本たばこ産業株式会社 北関西支社	
●北田幸子 ●株式会社朱常分店	
●立岩明美 ●一般財団法人タキイ財団	
●服部二三男・美代子 ●岡部静	

※期間：平成27年7月から平成28年6月まで

いつもありがとうございます。	
●松陽ボランティアまつばつくり	●紫竹女性会
●桂地域女性会	●成逸・乾隆学区女性会
●川岡地域女性会	●泉浩洋
●松陽学区社会福祉協議会	●森君子
●ボロボロ	●川本雅子
●浄土真宗本願寺派(西本願寺)	●西村邦忠
●京都教区教務所ビハラ京都	●高木紀代子
●松陽児童館	●石塚千鶴代
●ガールスカウト京都府第27団	●岡野てるみ
●松陽学区社会福祉協議会	●山本一郎
●ボランティアの花	●城崎佐代美
●菜々の会	●山下久子
●マザーズアンサンブル ノアノア	●小林司
●沼田眞理子ダンスカンパニー	●鳴海佳子
●邦楽一心	●宮下文彬
●新舞踊 智祥流	
●フォークグループ「六弦」	

※期間：平成27年7月から
平成28年6月まで

ボランティア

(順不同・敬称略)

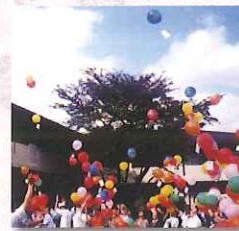


京都厚生園探訪記

京都厚生園の今と昔。いろいろなお話をしましたが、今回でこの「京都厚生園今昔拾遺物語」は最終回となります。最終回は「京都厚生園探訪記」これであとも厚生園通(「?」)と題して、京都厚生園のいろいろなスポットやトリビアを紹介していきます。



①園に向かう道です。目に入るしだれ桜の木。初回でお話したように植樹から32年、残念なことに一本が病気になるてしまい、植え替えを行いました。傾斜のある場所なので、土嚢で補強されています。このままの状態です。早くきれいな桜が見られますように。



⑦卓月フロアへ続く廊下には、掲示板や水槽があります。掲示板にはお知らせのほか、行事の写真やご利用者の余暇活動の写真が貼られています。今はあまり見かけなくなりましたが、柱時計。レトロですね。



⑥1階の食堂の中心には柱時計がかかっています。今はあまり見かけなくなりましたが、柱時計。レトロですね。

④玄関を入って真正面の突き当りには、AEDと消火栓があります。いざという時にちゃんと使えるよう、研修や訓練をしっかりと行っています。消火栓は他にも6か所設置しています。



③昔の話をもう一つ。開園当初は上下水道も都市ガスも通っていませんでした。井戸水を送る細いパイプは何かあるとすぐに切れてしまい、断水することもしょっちゅうだったそうです。



⑧廊下の壁には、絵も飾られています。こちらの仏画は吉村勝美初代園長の描かれたものです。見てみると心が落ち着きますね。



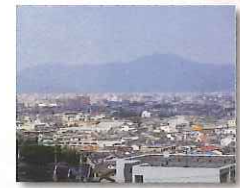
⑨卓月フロアとデイサービスセンターの間を隔てる扉。平成22年から23年にかけて行われた改修工事で、この扉になりました。和風テイストです。



⑩デイサービスセンターのホールの天井を見上げてみましょう。天井が吹き抜けになっています。普段は閉まっていますが、開けるとこんな感じです。



⑪2階の裏口です。非常口でもあり、病棟へ送迎等に使用しています。裏口のその先には、同法人の有料老人ホームライフ・イン京都の玄関が見えます。京都厚生園の2階の高さがライフ・イン京都の1階と同じということです。山手に建っていることを実感します。



⑫園一番の絶景スポット。桜フロアからの眺め。その名の通り、春には園庭の桜の全景がよく見えます。五山の送り火も一部で見えます。

